

【記入例】

別記様式第3号

複数の報告書を提出する団体は、文書番号を明示。なければ削除。

番 号
年 月 日

独立行政法人農畜産業振興機構理事長 殿

所在地

取組主体名

役職 代表者氏名

機構からの交付決定通知書の『発信日付と文書番号』を明記。

令和5年度大規模契約栽培産地育成強化推進事業実績報告書兼精算払請求書

令和5年〇月〇日付け5農畜機第〇〇〇〇号において交付決定のあったこの事業について、持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3農産第3175号、3畜産第1993号、農林水産省農産局長、農林水産省畜産局長通知）別紙2のI-Iの第13の1の（1）に基づき、下記のとおり実績を報告します。

また、下記7の精算額を交付されたく、併せて請求します。

記

1 事業の目的

国産野菜の輸入からのシェア奪還を見据え、国内産が需要に応えきれていない加工・業務用のレタスを安定供給

2 事業の内容

別紙の取組状況のとおり。

3 取組期間：令和5年度～令和7年度

4 1年目の事業終了年月日：令和6年3月31日

契約期間の終了日又は取組の終了日のいずれか遅い日を記載する。
ただし、4月以降まで出荷が続く場合は3月31日とする。

5 対象品目

対象品目	レタス（11月～3月）
用途	加工・業務用

※対象出荷期間が定まっている品目は、品目名の後に対象出荷期間を記載する。

※用途については、加工・業務用又は生食用のいずれかを記載する。

6 交付決定額 24,000,000円

7 精算払請求額 22,500,000円

事業ほ場面積が、計画の事業対象面積を下回った例

※ 16.0haのうち、証拠書類により、
0.91ha分の取組が確認できない場合、
最終的な事業ほ場面積は15.0ha
(15.09haの小数点第2位切り捨て)

8 7の積算資料

事業対象面積 15.0 (ha) × 150万円 (ha) = 交付金額 22,500,000円

9 振込先

金融機関名等： ○○銀行 △△支店

預貯金種別： 当座預金

口座番号： ○○○○

アイウエオノウギョウキョウドウクミアイキャベツブカイ

口座名義(フリガナ)： あいうえお農業協同組合キャベツ部会
ブカイチョウ ヤマダタロウ

部会長 山田太郎

資料Gの「契約履行証明」を参考に作成してください。同証明の作成が困難な場合は、出荷実績申告書(出荷伝票に基づく集計表(出荷実績明細書))等を添付願います。

10 添付書類

(1) 契約の履行実績が確認できる資料の写し(契約相手との荷受証明書等)

(2) 契約期間が当該年度から翌年度までに及ぶ場合、対象契約の履行が确实であることを証する書類

令和6年4月以降も出荷が継続する場合は、
該当する案件は、事前にご相談願います。

(3) 別紙の取組状況が確認できる資料の写し(例：作業日誌の写し及び取組写真、購入伝票の写し等)

※郵送で申請する場合は、欄外に責任者及び担当者の氏名、連絡先を記載すること。

○○○○組合

責任者：事務局長 ○○ ○○

担当者：係長 ○○ ○○

電話 ○○○-○○○-○○○○

E-mail：○○○○@△△△△

別紙

1 契約に基づく出荷実績

	実績
契約者名 (実需者、中間事業者)	1. ○○食品 (△△商事) 2. ○○フーズ (△△商事) 3. ○○漬物 (△△商事)
出荷期間 (実績) (契約期間)	令和○年○月○日 ～令和○年○月○日 (○年○月○日～○年○月○日)
出荷数量又は出荷面積 (t 又は ha) (契約数量又は契約面積)	350.0 t 又は 15.0 ha (360.0 t 又は 16.0 ha)

- (注) 1. 契約者名欄には、対象契約の相手方を記載する。
2. 出荷数量又は出荷面積の欄には、契約方法に合わせて出荷数量又は出荷面積のいずれかを記載する。
3. 数量契約の場合、出荷数量は対象契約に基づく出荷数量の実績を記載する。
4. **面積契約**の場合、出荷面積は対象契約に基づき出荷したほ場面積の出荷面積の実績を記載する。

【留意事項】

面積契約の場合、登録されている全てのほ場からの出荷を確認する必要があります。

確認できない場合は補助金が交付されない場合がありますので、速やかに都道府県法人（経由しない場合は機構）にご相談ください。

①上段は契約履行証明資料等で実際の出荷期間及び出荷実績を記載。

②なお、出荷が令和6年3月末時点において、実績が確定しない場合（＝年度またぎ出荷）は、計画と同じ値を記載の上、別途、対象契約の履行が確実であることを証する書類を添付する。

※該当する案件は、事前にご相談願います。

※出荷終了後、履行実績について別途報告が必要です。
(補助実施要領 別記様式第4号「対象契約履行報告書」)

2 生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大

ほ場での取組は、作業日誌に明示。

対策項目	実績		
	取組内容	取組時期 (年月)	事業ほ場面積 (ha)
a 事業ほ場の設定	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha
b 実需者等との一定期間の事前契約の締結	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha
c 新規作型の導入	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha
d 生産コストの低減	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha
e 流通コストの低減	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha
f トレーサビリティシステム等の活用	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha
g 出荷量の安定に向けた取組	〇〇した。	令和〇年〇月	15.0 ha

- (注) 1. 取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。
 2. 取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。
 3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。
 4. 1つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。

実績の取組内容欄は、計画の取組どおりに実施できた場合、「〇〇する」→「〇〇した(できた、等)」と、語尾を過去形にて記載する。
 ※「努める」は、「努めた」ではなく、「〇〇した(できた、等)」と記載する。

【事業ほ場面積が、計画の事業対象面積を下回った例】
 ※16.0haのうち、証拠書類により、0.91ha分の取組が確認できない場合、最終的な事業ほ場面積は15.0ha(15.09haの小数点第2位切り捨て)
 ※面積契約で、登録されている全てのほ場からの出荷を確認できない場合は補助金が交付されない場合がありますので、速やかに都道府県法人(経由しない場合は機構)にご相談ください。

【留意事項】

「別添1-1:2及び3の明細 ほ場内容」から集計した実績を記載してください。

3 作柄安定技術の導入のための取組

ほ場での取組は、作業日誌に明示。

対策項目	実績		
	取組内容	取組時期 (年月)	事業ほ場面積 (ha)
a 土層改良・排水対策	〇〇	令和〇年〇月	15.09ha
小計	15.09ha		
b 病虫害防除・連作障害回避対策	—	—	—
小計	—		
c 地温安定・保水・風害対策	〇〇	令和〇年〇月	15.09ha
小計	15.09ha		
d 土壌改良資材施用	〇〇	令和〇年〇月	15.09ha
小計	15.09ha		
事業ほ場面積 (実面積)	15.0ha		

事業ほ場面積が、計画の事業対象面積を下回った例
 ※ 16.0haのうち、証拠書類により、0.91ha分の取組が確認できない場合、最終的な事業ほ場面積は **15.0ha** (15.09haの小数点第2位切り捨て)

- (注) 1. 取組内容欄には、事業実施計画に基づき実施した取組の内容及び使用した資材等を記載する。
2. 取組時期欄には、当該取組が行われた年月を記載する。
3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積を記載する。
4. 1つの対策項目において、複数の取組を行った場合は、取組内容ごとに記載する。
5. **事業ほ場面積（実面積）欄は、小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載する。**

【留意事項】

「別添1-1：2及び3の明細 ほ場内容」から集計した実績を記載してください。

No	事業参加農家名	事業ほ場の所在地(地番)	取組年次	事業ほ場面積(ha)	取組																備考					
					①生産・流通体系の構築及び出荷期間の拡大のための取組								②作柄安定技術の導入のための取組													
					a		b	c		d		e		f	g	a		b		c		d				
					内容	年月		内容	年月	内容	年月	内容	年月			内容	年月	内容	年月	内容		年月	内容	年月		
1	AAAA	麻布台1丁目1~2	1年目	5.00	表示標の設置	令和5年5月		加工用品種の導入	令和5年6月	収穫機の導入	令和5年9月~12月	大型コンテナの導入	令和5年9月~12月			プラウ耕	令和5年8月	-	-	寒冷紗	令和5年9月	pH改良剤の施用	令和5年8月			
			2年目		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			3年目		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	BBBB	麻布台1丁目3~4	1年目	10.09	表示標の設置	令和5年5月		加工用品種の導入	令和5年6月	収穫機の導入	令和5年9月~12月	大型コンテナの導入	令和5年9月~12月			高畝栽培	令和5年8月	-	-	寒冷紗	令和5年9月	たい肥	令和5年8月			
			2年目		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			3年目		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	CCCC	麻布台1丁目5	1年目	0.00	表示標の設置	令和5年5月		加工用品種の導入	令和5年6月	収穫機の導入	令和5年9月~12月	大型コンテナの導入	令和5年9月~12月			-	-	-	-	寒冷紗	令和5年9月	たい肥	令和5年8月	〇〇のため、◎◎の取組が確認できなかった。		
			2年目		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			3年目		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
事業ほ場面積(実面積)				15.0 ha	<p>事業ほ場面積が、計画の事業対象面積を下回った例 ※16.0haのうち、証拠書類により、No.10 CCCCの取組が確認できない場合、最終的な事業ほ場面積は15.0ha ※証拠書類の不備等により取組が確認できない場合は、<u>備考欄に理由を記載</u>。</p>																					

- (注) 1. 事業参加農家名欄には、事業実施計画に沿って事業に参加した農家全員をほ場ごとに記載する。(地続きの場合は複数のほ場をまとめて記入することも可)
また、記載欄が不足する場合、様式に記載欄を追加して記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。
2. 事業ほ場の所在地欄には、番地まで記載する。
 3. 事業ほ場面積欄には、当該取組が行われた面積 (小数点第3位を四捨五入し、ha 単位で記載する。) を記載する。
 4. 期間中に1つのほ場で対象品目を複数回作付した場合には、ほ場の実面積を記載する。
 5. 事業ほ場面積 (実面積) 欄には、小数点第2位を切り捨て、ha 単位で記載する。
 6. 取組の内容欄には、事業実施計画に基づき、取組内容を簡潔に記載する。
 7. 取組の年月欄には、当該取組が行われた年月を記載する。

**各個人ごとの事業ほ場面積は、小数点第2位まで表記 (四捨五入)。
事業ほ場面積 (実面積) は、小数点第2位を切り捨て、小数点第1位まで表記 (四捨五入厳禁)。**

【留意事項】

- ・記載欄が足りない場合は適宜追加してください。
- ・1ほ場のデータが見切れることのないよう、適宜、改ページをお願いします。

「農作業従事者の安全の確保を推進するため、作業安全対策に係る自らの取組状況の把握に努める」ことが規定されていることから、1年目の取組状況を**事業参加農家ごと**に報告する必要があります。

(別添2)

みどりのチェックシート

年 月 日

氏名 (法人の場合は代表者名)

【化学合成農薬の使用量低減】	【化学肥料の使用量低減】
<input type="checkbox"/> 農薬の適正な使用保管	<input type="checkbox"/> 肥料の適正な保管
<input type="checkbox"/> 農薬の使用状況等の記録を保存	<input type="checkbox"/> 肥料の使用状況等の記録を保存
<input type="checkbox"/> 病害虫・雑草発生しにくい生産条件の整備 (健全種苗の使用、病害虫の発生源除去等)	<input type="checkbox"/> 有機物の施用 (堆肥や有機質肥料の利用、緑肥・作物残渣のすき込み等)
<input type="checkbox"/> 病害虫・雑草の発生状況を把握した上での防除要否	<input type="checkbox"/> 作物特性データに基づく施肥設計 (簡易土壌診断、前作の収量等)
<input type="checkbox"/> 多様な防除方法 (防除資材、使用方法) を活用した防除 (物理防除・生物防除の活用等)	
【温室効果ガス・廃棄物排出削減】	【農作業安全】
<input type="checkbox"/> 電気・燃料の使用状況の記録を保存	<input type="checkbox"/> 農業機械・装置・車両の適切な整備と管理の実施
<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減に資する技術の導入 (省エネに留意した適切な農業機械・装置・車両の 使用、農場由来の温室効果ガス削減、ほ場への炭素貯留等)	<input type="checkbox"/> 農作業安全に配慮した適正な作業環境への改善 (作業方法の改善や危険箇所の表示、保護具の着用、機械・ 器具の操作方法確認等)
<input type="checkbox"/> 廃棄物の削減や適正な処理 (プラスチック等の資材の使用量又は排出量削減や廃棄の際 の処分の適正化)	

注1：別添1の事業参加農家ごとに作成すること。

注2：事業の対象品目の生産活動において実施した内容について、□欄に✓又は■を記入すること。なお、該当しない場合は、□欄には／(斜線)を記入すること。